

# NEWS RELEASE

2021年1月15日

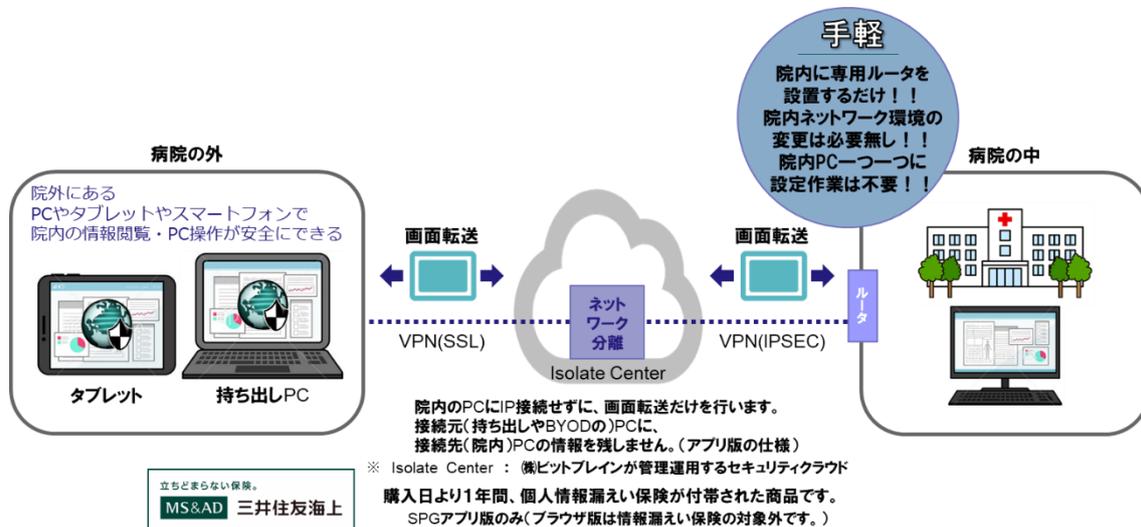
報道各位

株式会社ビットブレイン

## 【緊急告知】

病床ひっ迫の課題を解決するため、  
臨時施設や院外から院内の電子カルテを利用できるサービスを無料提供

最短5営業日で導入可能！！ルータ設置のみで利用可能！！



株式会社ビットブレイン(本社:福井県福井市、代表取締役:斎藤智示)は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大による入院患者の増加に伴う、病床ひっ迫リスクが拡大している状況に対して、臨時入信施設や臨時診察室の早期開設を支援するため、臨時施設などの院外から院内の電子カルテを最短5日で利用可能にする自社サービスを、本日より2か月間利用料無料で提供いたします。

## 【背景】

新型コロナウイルス（COVID-19）が、これまで経験したことのないスピードで感染拡大を続けています。政府は2021年1月8日に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県を対象とした緊急事態宣言をし、その後、緊急事態宣言の対象地域が全国各地に広がっていきました。

この状況下で、今最も深刻な事態は、新型コロナウイルスに感染した中等症以上の患者を受け入れる病床が不足していることにあります。

加えて、日常に発生する事故や病気などの通常患者が治療や入院できない事態が発生していることにあります。

ことさら、病床など設備の問題だけではなく、看護師などの医療スタッフが不足していて、現状の人員では対応可能な患者数に限界があるとされ、この深刻な事態を招いている一つの要因といわれています。

そのような状況下で、当社は通常の患者治療に支障を出さずにコロナ感染患者の処置を迅速に行うために、すばやく臨時入院施設や臨時診察室を設置すること、その施設内で電子カルテなどシステム利用をして医療スタッフの業務効率化と負荷を下げることに、これらの取り組みが必要と考えています。

電子カルテなどの医療情報を取扱うシステムは、通常、インターネットと切り離された非常にセキュリティの高い環境で使われています。

そのため、臨時入院施設や臨時診察室を開設しても、その場所で電子カルテやレセプトなどの医療システムを利用するには、ネットネットワーク工事などの大改修が必要になり、膨大な費用と時間が必要になります。

この費用と時間の捻出が困難な場合、医療スタッフは、臨時施設と病院とを行き来して、紙にメモした情報を院内の電子カルテに入力する、院内の電子カルテや画像データ、検査データを確認して紙にメモして臨時施設での診察・処置を行う、といったオペレーションになります。

仮に、臨時入院施設や臨時診察室の開設時に、院内の医療情報システムの高セキュリティを担保しつつ、すばやく、そして低コストで、臨時施設内で電子カルテなどが利用できるようになるのであれば、新型コロナウイルス感染拡大から人々を守る一つの施策になるのではないかと当社は思っております。

その解決策として、当社の医療向けリモートソリューション、SPG-Remote Medical で、臨時入院施設や臨時診察室の即時開設、医療スタッフの業務効率化に即時対応させるため、利用料2ヶ月無料で、1ライセンスからの提供をすることといたしました。

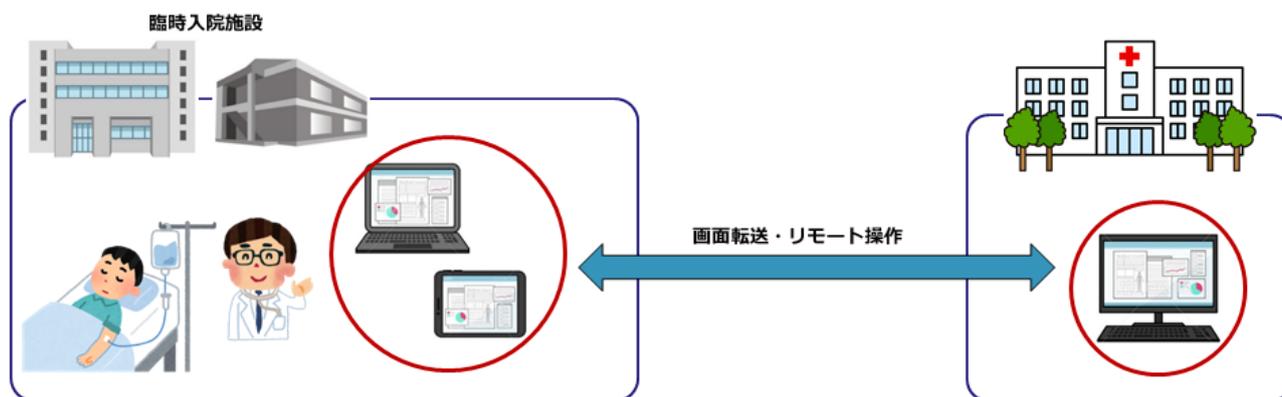
## 【SPG-Remote Medical の適用事例】

下記事例②にある臨時診察室は富山労災病院様の導入事例を添付資料にて配布いたします。

### 事例①

#### 臨時入院施設で活用

敷地内の空き棟や敷地外の公共施設などを利用して臨時の入院施設を開設するとき、臨時入院施設内で院内の電子カルテや画像データ、検査データなどの医療情報の閲覧・書込み操作が可能になります。

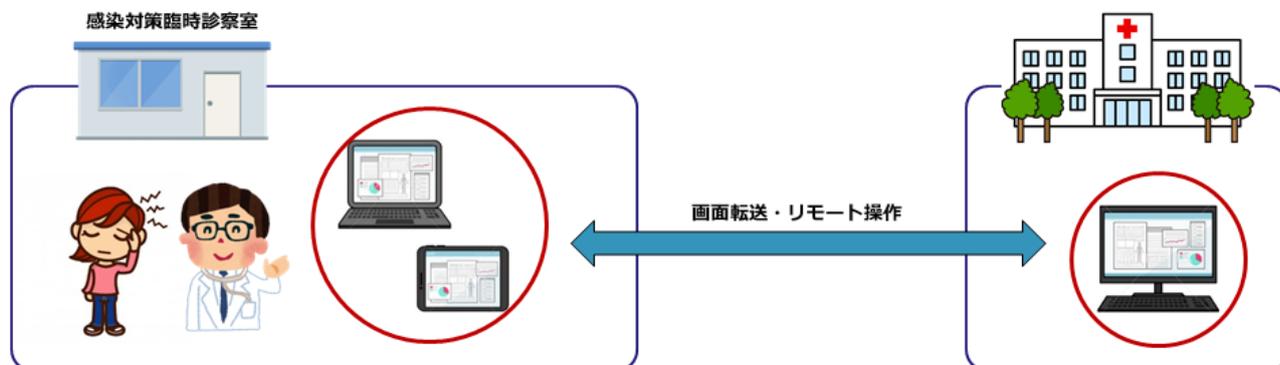


臨時入院施設から院内の医療情報を閲覧・書込み操作

### 事例②

#### 臨時診察室で活用

院外の臨時診察室でコロナ感染者か否かを診察・検査する場合に、臨時診察室で電子カルテや画像データ、検査データなどの医療情報の閲覧・書込み操作が可能になります。

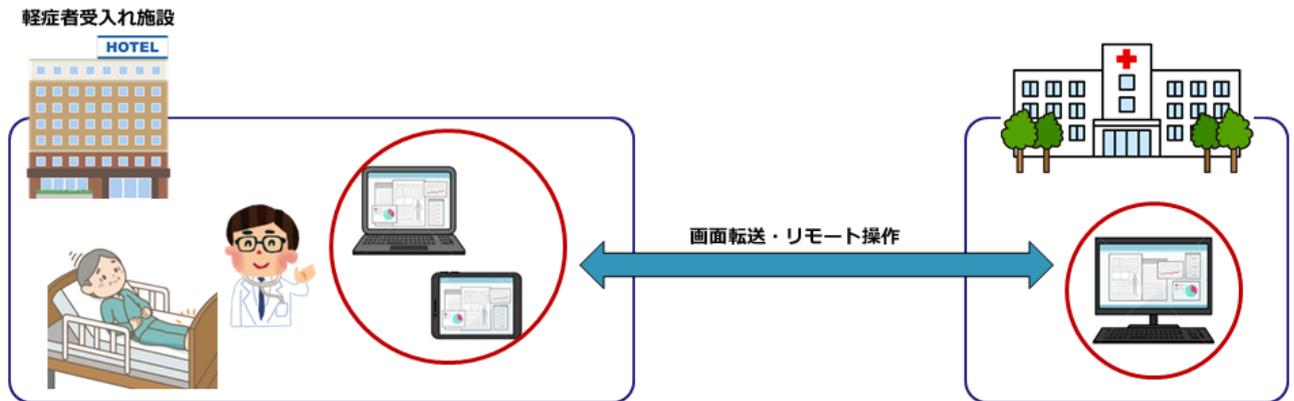


施設内に設置した臨時診察室から院内の医療情報を閲覧・書込み操作

事例③

軽症者受入れ施設で電子カルテの利用に活用

ホテルや旅館を軽症者受入れ施設として開設するとき、軽症者受入れ施設内で院内の電子カルテや画像データ、検査データなどの医療情報の閲覧・書込み操作が可能になります。

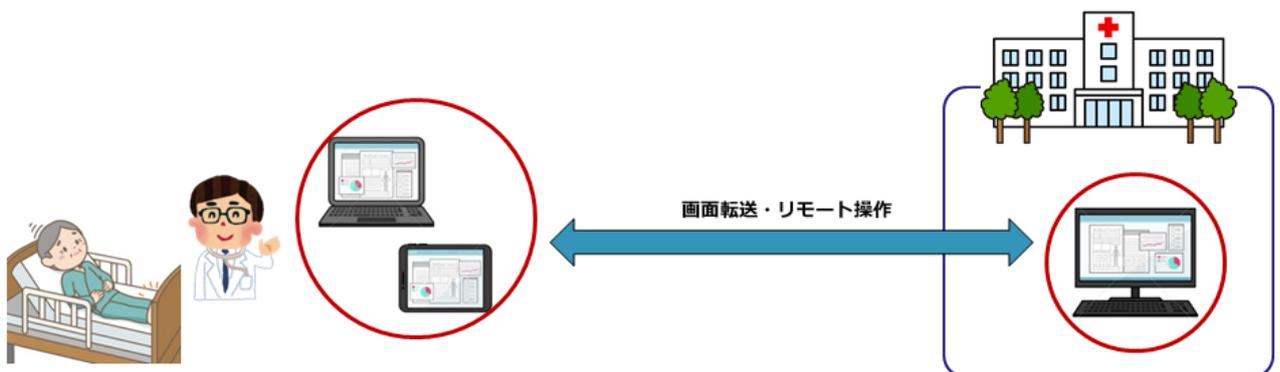


軽症者受入れ施設から所属病院の医療情報を閲覧・書込み操作

事例③

訪問診療・看護など院外での電子カルテの利用に活用

訪問診療・看護をするとき、現場で診察を記録し病院に戻って電子カルテに転記していた行為が、現場で電子カルテに直接記録することが可能になります。



院内の患者情報や過去の病状・処置を閲覧・書込み操作

## 【SPG-Remote Medical の特長】

医療機関向けテレワーク製品『SPG-Remote Medical』は院内・局内・施設内のクローズドネットワークにある電子カルテや検査情報、画像情報、薬歴情報、施設利用者情報などの院内情報に安全かつ簡単にアクセスができることが特徴です。また、「簡単導入、容易な操作、強固なセキュリティ」が強みです。

### ◆ 短納期！！最短 5 営業日で利用可能

お申込書が当社に届いてから最短 5 営業日で利用開始になります。

### ◆ インストール作業などの煩わしさなし！！

院外の PC も院内の PC もアプリのインストールや設定は不要です。4STEP の簡単操作で院内 PC へ超高速接続します。

### ◆ ルータ設置のみの簡単セットアップ（工事不要）

お申し込み後、専用ルータを送付します。開封して LAN ケーブルを差し込みルータの電源ボタンを入れるだけで設置工事は終わりです。IT 専門業者の支援など不要で、既存のシステムに一切影響を与えず、設定変更も不要です。

### ◆ マルチデバイスで使えて便利！

メールが受け取れればいつでもどこでもマルチデバイスでご利用いただけます。Windows だけではなく、Mac や Linux、タブレットやスマートフォン等マルチデバイスでご利用いただけます。

### ◆ 強固なセキュリティで安全・安心！！

院外 PC と院内 PC はビットブレインが誇るセキュリティアクラウドを介して、院内 PC の画面を院外 PC へ転送します。また、セキュリティアクラウドは、リスクベース認証技術や 2 要素認証技術を採用した強固なログインシステムに加えて、NON-IP 技術を活用したネットワーク分離システムではパスワード認証も廃止した超強固なセキュリティを実現しました。

院外 PC には、院内の情報を保存やコピーすることができず、また、クリップボードやキャッシュ領域に一切の情報は残りません。

### ◆ 導入は IP アドレスを伝えるだけの手軽さ！

『SPG-Remote Medical』を導入して頂くためには、院外から接続する院内 PC の IP アドレスをヒアリングシートに書いてお送りいただくだけの手軽さです。

### ◆ 個人情報漏えい保険付帯

『SPG-Remote Medical』導入後、情報漏洩や不正侵入などのセキュリティ不安に悩まれている病院様の不安を解消するため、最大 1,000 万円まで補償する個人情報漏えい保険が付帯されています。これにより、院外でご利用いただく場合でも安心してテレワークをご利用いただけます。

※個人情報漏えい保険の適用には諸条件があります。

## 【SPG-Remote Medical の価格】

『SPG-Remote Medical』

- ・ 初期費 : 998,000 円 (税別) ~
- ・ 月額費 : 8,400 円 (税別) 1 ライセンス
  
- ・ ご契約期間は 1 年間です。
- ・ 個人情報漏えい保険が付帯されます。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ビットブレイン

TEL:0776-43-0860 FAX:0776-43-0861

Mail:sales@bit-brain.com

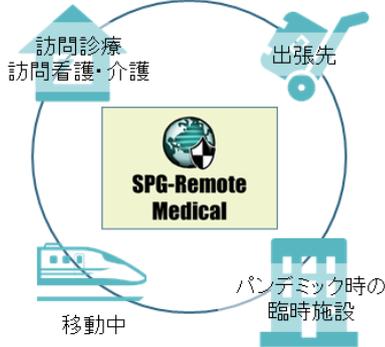
担当 : 斎藤

手軽

院内に専用ルータを  
設置するだけ！！  
院内ネットワーク環境の  
変更は必要無し！！  
院内PC一つ一つに  
設定作業は不要！！

最短5営業日で即導入！！

# セキュリティが自慢！！ 医療従事者のテレワークツールに 『SPG-Remote Medical』

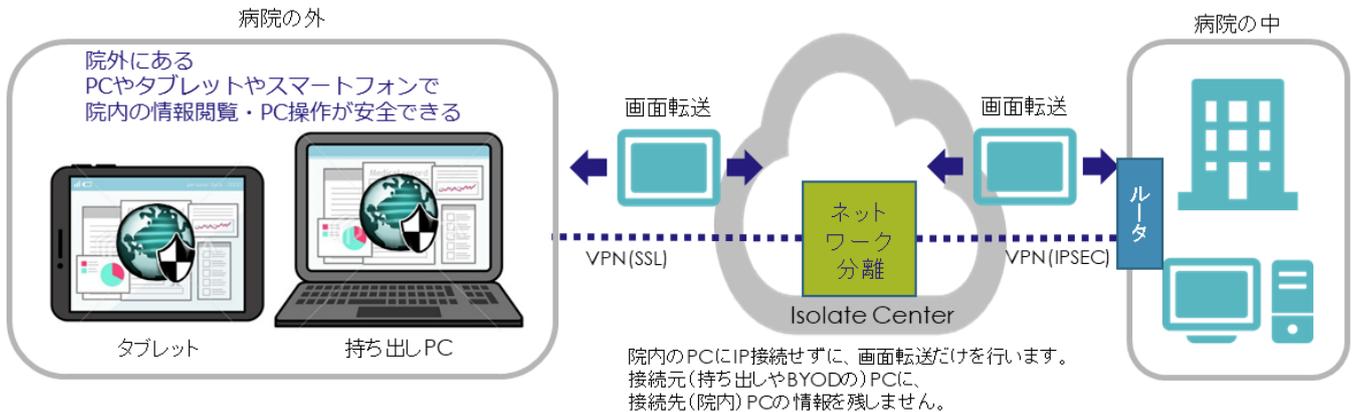


## 院外のどこからでも安全に院内のPCを操作できます！！

- ✓ 病院の外でも、院内の患者情報を閲覧・過去の病状・処置を確認したり、処置を指示するといった使い方が可能。
- ✓ 所属薬局以外での勤務時に、所属薬局の薬歴など情報閲覧・PC操作が可能。
- ✓ 新型コロナウイルスなどのパンデミック時に、臨時施設を院外で運用する場合に、院内ネットワークへの安全なアクセスを容易に実現。
- ✓ 風雪電災・地震などの災害時にも、場所を問わず院内情報を閲覧・PC操作が可能。

## セキュリティクラウド利用の『リモートデスクトップサービス』

outline



※ Isolate Center : 株式会社ブレインが管理運用するセキュリティクラウド

選ばれる  
確かな技術  
ここにあり

強固な  
セキュリティ

接続元(院外)ネットワークと接続先(院内)ネットワークが繋がらない仕組みで、院内へのウイルス侵入やサイバー攻撃、院内からのファイル流出を防ぎます。手軽な導入とネットワーク分離の両立が出来るのは、ビットブレインの技術です。

safety

リスクベース認証

総当たり攻撃



IDの入力がある回数間違えると、次入力できるまで停止します。さらに間違えると停止時間が伸び、停止時間を可変長にすることで、攻撃するコンピュータを混乱させます。SPG-Remoteは、優れたサイバー攻撃を仕掛けられた場合、破られるまでに、平均8万年かかる設計です。

多重証明、高強度暗号化、2ファクタ認証



セキュリティクラウドでネットワーク分離



病院の中

病院の中